

令和3年度

# 事業計画書



社会福祉法人 寿光会

社会福祉法人 寿光会

## 経営理念及びケア目標・ケア方針

### 【経営理念】

周りの人の幸せを願うところに自らの幸せもある

### （ケア目標）

入居者・利用者のそれぞれの生活スタイルが尊重され、主体的にその人らしく、心穏やかに暮らせる場の創造を目指します。

### 「ケア方針」

- ①入居者・利用者及びご家族の意向にそった支援に努めます。
- ②残存機能を生かし、自律心を尊重した支援に努めます。
- ③居宅介護の継続性と地域との関係を重視した支援に努めます。
- ④精神的・身体的拘束のないケアに徹します。
- ⑤個々の考え方が尊重され、共通ルールは必要最小限にとどめるように努めます。
- ⑥職員が相互に協力して、チームケアに取り組みます。

### 《職員モットー》

自らが入居・利用したいと思う施設の創造

# 事業内容

## 高齢者総合ケアステーション寿光園

- ・特別養護老人ホーム寿光園（定員：60名）
- ・地域密着型特別養護老人ホーム寿光園（定員：16名）
- ・デイサービスセンター寿光園（定員：18名）【地域密着型通所介護】
- ・寿光園ヘルパーステーション
- ・寿光園ショートステイ事業部（定員：13名）
- ・八尾ケアプランセンター寿光園
- ・グループホーム寿光園（定員：9名）
- ・八尾市地域包括支援センター寿光園

## 高齢者総合ケアセンター柏原寿光園

- ・特別養護老人ホーム柏寿（定員：30名） 【小規模従来型施設】
- ・特別養護老人ホーム高寿（定員：30名） 【小規模ユニット型施設】
- ・有料老人ホーム安寿（定員18名）
- ・デイサービスセンター高寿（定員18名） 【地域密着型通所介護】
- ・柏原寿光園ホームヘルプセンター
- ・ショートステイ柏寿（定員：10名）
- ・ショートステイ高寿（定員：10名）
- ・柏原ケアプランセンター寿光園
- ・柏原地域生活支援事業

## 柏原地域密着型高齢者施設太寿

- ・特別養護老人ホーム太寿（定員29名）
- ・ショートステイ太寿（定員：10名）
- ・グループホーム太寿（定員：9名）

## 八尾地域密着型高齢者施設楽寿

- ・特別養護老人ホーム楽寿（定員29名）
- ・デイサービスセンター楽寿（定員：25名）
- ・ショートステイ楽寿（定員：10名）
- ・八尾市地域包括支援センター楽寿

## グループホーム令寿の杜

- ・グループホーム令寿の杜（定員18名）

## その他、社会貢献事業(地域における公益的活動)等

- ・大阪社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）
- ・柏原民間社会福祉施設連絡会（生活支援事業）
- ・生活困窮者就労訓練事業（中間就労）の就労訓練対象者の受け入れ。
- ・こども食堂の開催
- ・学習支援の会の開催
- ・高齢者専用喫茶“お茶処ことぶき”の開催

# 令和3年度

## 社会福祉法人 寿光会 事業計画書

昨年1月に日本で新型コロナウイルスによる感染者が初めて確認され、その後、急速に感染者が増加し国民生活に甚大な影響を及ぼすほどに感染が拡大しました。4月7日には総理大臣が東京、大阪を含む7都府県に緊急事態宣言を発令、4月16日には対象を全国に拡大し5月25日に解除宣言を行い、その後も一旦は減少傾向が見られましたが10月末以降増加傾向に転じ12月には首都圏を中心に新規感染者は過去最多となりました。医療体制がひっ迫している地域が見受けられ医療崩壊の危険性が懸念された事もあり令和3年1月8日には首都圏を中心に再度、緊急事態宣言が発出され、その後地域が拡大され深刻度がさらに増してきております。医療機関の受け入れ体制がひっ迫する中、重症化しやすいといわれている高齢者施設の入居者や持病を持たれている高齢者にとって不安な毎日が続いております。そして当法人が運営する事業所近隣の高齢者施設でもクラスター感染が複数報告されており利用者の安全・安心を確保するために感染対策には万全を期していかなければなりません。

このような状況の中、令和3年度は介護報酬が改定される年度です。今回の改定では地域包括ケアシステムの推進、重度化防止、自立支援、制度の持続性があげられていますが感染症や災害への対応力強化が大きく取り上げられており、改定率においても感染症等への対応力強化に伴うかかり増し経費相当分も含め全体で+0.7%の基本報酬の見直しとなりました。感染症や災害発生時のリスクの備え、安定的なサービス提供が求められており、そのための体制整備が義務付けられることとなり、また入居施設では事故防止の観点から管理体制の強化が求められ適切な管理体制整備が出来ていなければ減算措置が講じられ、全サービスを対象に虐待防止のための指針の整備などが義務付けられ高齢者の安全と人権擁護の充実が求められています。今回の改定率には介護人材確保、処遇改善にも配慮されており、寿光会として令和3年度は利用者の安全を確保し安心してご利用いただける施設運営を行っていくための感染対策の継続と強化に取り組んで参ります。そして慢性的な人材不足解消への取り組みとして求人活動のみならず、職員の研修や定着しやすい職場環境の充実、令和2年度は新型コロナの影響で受け入れが出来なかった技能実習生等の受け入れにも状況を見極めて取り組んで参ります。一方、これから高齢者福祉に目を向けると2025年には高齢化率30%を超え、認知症高齢者は700万人を越えるとの推計もでております。高齢化が進む中、とりわけ認知症高齢者の介護問題は今後大きな社会問題ともなってきます。認知症高齢者の尊厳の保持と可能な限り住み慣れた地域において人生の最後まで自分らしい暮らしを継続し、自立支援を支える地域の包括的サービス提供体制の構築が急務となってきております。その中で地域の認知症高齢者対策への取り組みの一つとして寿光会では、令和3年度から実質運営を開始するグループホーム「令寿の杜」を地域に根差した施設として、早期に安定運営ができるよう取り組んで参ります。

# 運営管理部門

## ①新規事業および施設整備事業等

令和3年度の新規事業として、令和3年4月に、旧柏原寿光園跡地に「グループホーム 令寿の杜」が2ユニット18名でオープンします。

## ②組織

### 1、理事会

理事7名によって構成され、業務執行の決定機関として機能し、事業計画・予算書および事業報告・決算書策定を行う等、業務を執行します。理事会には監事が出席し、会を監査します。

### 2、評議員選任・解任委員会

外部委員2名（内1名を監事と置きかえることができる）、事務局員1名で構成し理事会から推挙された候補者の中から、評議員を選任します。又、正当な理由がある時には、正当な手続きにより評議員を解任することがあります。

### 3、評議員会

評議員8名で構成され、法人運営の基本ルール・体制を決定、事業報告・決算の承認、理事の選任・解任等を行う決議機関として、法人運営を監督する役割を果たします。

### 4、経営会議（事務局会議）

寿光会経営会議設置要綱に準じて、理事長が委嘱した6名以下の委員で構成され、法令を遵守した法人の適正運営の実行や、長期的な経営戦略等について協議するため、原則として月に2回開催します。また各会との関係では、事務局として機能します。

### 5、各事業所の組織

各事業所ではそれぞれ組織表を作成して役割を明確にし、個々の役割に応じて職務を遂行します。同時に各事業所間では、業績や業務内容について切磋琢磨するとともに、相互に補完して法人全体の業績や評価を向上させるように努めます。

## ③人事

### 1、評議員・役員等

任期満了に伴い、令和3年度は役員、評議員、評議員選任・解任委員が共に改選となります。理事会で選任された新選任解任委員による評議員選任・解任委員会において選任された新評議員、及び評議員会で選任された新理事により、法人運営に取り組んで参ります。

### 2、職員

人材育成のため、法人全体による共通内容の研修や資格取得の支援策等を実施します。また人材確保のため、キャリアパスを具体化し活用する等、職場環境の改善に努め、より働きやすい職場を目指します。

# サービス事業部門

## ①法人としての取り組み

### 1、新規事業（認知症対応型共同生活介護事業）への取り組み

令和3年3月に開設を予定していた認知症対応型共同生活介護事業（事業所名称『グループホーム令寿の杜』2ユニット 定員18名）ですが、建築業者の事情により完成引渡しが遅れ、令和3年4月1日の事業開始となります。しかしながら、これまで進めてきた計画を基に、他の設備や備品の準備、職員採用や研修を期日までに進め、入居者をお迎えできるように努めてまいります。

### 2、人材確保と雇用の安定

これまで法人では人材が定着するための職場環境の整備や、人材をより多く採用できるための方策として、資格取得支援制度やキャリアアップ認定制度・誕生日祝い金制度などの取り組みを行ってきました。実際に採用者からは職場選びのきっかけの一つになったとの声があり一定の成果はあるも、依然として人材確保が困難な状況が続いています。こうした状況下、各拠点の特長を生かした求人活動を実施することと、前年度新型コロナウイルス禍により準備を中断した外国人技能実習生の受け入れを、環境が整い次第実施し、あわせて次年度以降も持続的に受け入れができるような体制整備等も進めていきます。もう一つの取り組みとしては、法人全体での研修、習熟度にあったキャリアアップ研修を計画的に行い、介護技術だけでなく、幅広い知識の習得や技術の向上、及びフォローアップのための研修体制の強化も行い、初めて介護業界に就職してきた職員も不安なく仕事を継続していけるような環境作りに努めてまいります。

### 3、サービスの質の向上と安定的な稼働率の確保

各職員のスキルアップは非常に重要であると考えます。本来であれば施設内外の研修に積極的に参加し、そこで習得した知識・技術をフィードバックし実践を重ねることでサービスの質を継続的に確保できるよう進めていく訳ではありますが、昨今の新型コロナウイルス禍により研修機会が激減しています。当部門としては、法人内研修の実施方法を見直し、例えば、ZOOM や SNS などをも有効に活用し、集合せずとも研修機会を確保できるよう検討してまいります。また各事業の安定的な稼働を維持するため、拠点間連携会議等において、情報共有やそれぞれの課題の共有・検討を行い、法人全体の安定的な稼働率の確保へとつなげていきます。

## ②拠点ごとの取り組み

### ●寿光園

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、令和2年度は各サービスに様々な影響を及ぼしたことを受け、令和3年度はその影響を最小限に留めるよう努めてまいります。

入所系サービス（広域型特養・地域密着型特養）につきましては、感染予防のため面会制限を実施したことで家族様の不安も増大する中、重大事故が数件発生しご家族の皆様には大変ご心配をおかけしました。感染の終息が見えない令和3年度につきまして、まず“安心できるサービスの提供”を大目標とし、その方策としては引き続きガラス戸越し面会とオンライン面会の実施はもちろん、家族様へのお手紙（写真付）の回数を増やしたり、電話による連絡を活用したりするなど、見える化する努力を続けていく所存です。また、職員間の連携強化や、職種間の風通しをよくするため臨時ミーティングを毎週実施しており、次年度も継続いたします。グループホームでも面会制限により入居者様の不安状態を招いているケースもあり、本人様・家族様とも不安を払拭できるような取り組みを検討することが喫緊の課題です。また、入居待機者の大幅な減少のため、特養とも連携し空床日数を極力減少できるよう努める所存です。

在宅系サービスでは、地域密着型デイにつきまして、コロナの影響はあるものの稼働率は伸び悩んでおり、寿光園の特徴を他事業所のケアマネに十分説明し、新規顧客を獲得することを最大の目標とします。訪問介護につきましては、ここ数年の実績は右肩下がりであり令和2年度より本格的に自費利用（介護保険サービス契約者に限る）を実施したり、曜日・時間ごとのピンポイント空き情報をお知らせしたり、お試し利用を実施したりと対応しておりますが、顧客数は減少しており、より一層の努力が求められます。ケアプランセンターにつきましては、令和3年度の介護報酬改定におけるプラス改定の対価として質の高いケアマネジメントが求められることとなり、個々のスキルの更なる向上のための取り組みを実施します。ショートステイは入所待機者が年々減少する中、施設入所予備軍として常にロング利用者数を安定させることを目標にします。地域包括支援センターにつきましては、新型コロナ感染症蔓延に伴う緊急事態宣言の発令等に伴って教室関係が実施できなくなり、実績の低下はもちろん地域の利用者様の閉じこもりが継続し、ADLに影響が出ている高齢者も少なくありません。代替として電話や訪問による運動の啓発を進めるとともに、例年以上に地域の実態・現状把握に努めてまいります。

また、近年の課題である介護人材の不足については、昨年度に引き続き留学生や技能実習生といった外国人雇用も視野に入れながら求人活動を実施していく所存です。研修会や委員会、会議やその他様々な活動を通じて、“人を育てる”ことを全体目標とし、特に管理職は意識しながら後任の指導に当たっていく所存です。

### ●柏原寿光園

当拠点は移転からまもなく3年を迎えます。移転前と比べ国分地区のご利用者様の割合が増え、当然ながらお膝元となる高井田地区のご利用やご相談も増加し、地域の社会資源の拠点として認知頂いてまいりました。

当拠点の入所施設は、柏原市内に所在する他の特養施設と異なり、ご入居を希望される方やご

家族が経済状況や生活スタイル・要介護状態に応じ、従来型多床室である特養柏寿（30床）とユニット型個室である特養高寿（30床）のいずれかを選べるという利点があります。しかしながら新型コロナウイルスの感染拡大により、医療機関などに入院中である入居希望者様が各医療機関や施設の方針により面接の機会を得られないことがあるため、ご入居の運びとなるまでに日数がかかるようになるケースが生じています。こういった状況に対応するため、今後もたくさんのご入居申し込みを頂けるよう、地域の介護サービス事業者様やケアプランセンター様に働きかけてまいります。

ショートステイの2事業（ショートステイ柏寿・高寿 各10床）は合計20床の居室を有効活用するため、ケアプランセンターや地域包括支援センターへのこまめな働きかけや空床情報を提供し、新たなニーズを掘り起こしてまいります。地域密着型デイ（デイサービス高寿 定員18名）やホームヘルプ事業、ケアプラン事業も同様に地域の社会資源として、新規ご利用者の発掘に努めてまいります。また、法人下で唯一となる住宅型有料老人ホーム安寿（定員18名）ですが、現在においても空床があります。今後も引き続き、在宅生活が難しいが、介護度が2以下であるため特養への入居ができない方などを対象に、地域包括支援センターやケアプランセンターを通じ周知してまいります。またこれまでと同様、法人職員研修などの機会を活用しながら、サービス提供の源であり重要である、人材の育成に努め、人材の定着を図ります。

## ●太寿

入居系サービス（特養・グループホーム）につきましては、例年通り稼働率の維持・向上と加算体制獲得を目指すことを継続し、さらなる経営基盤の盤石化を図って参ります。前年度は人員体制が整わず、利用者様の受け入れ人数を制限していたショートステイ事業につきましては、年度初めから人員体制が整った状態でスタートすることができる見込みです。低調だった実績を高稼働に切り替えることができるよう、積極的な顧客獲得を目指します。

前年度と同じテーマではありますが、太寿3事業を安定運営していくためには「人」が重要となってきます。ここ数年の課題となっている入居希望減少対策として「太寿に入居したい」というニーズを高めるため、現在利用されている方の満足度を高めて地域社会からの信頼獲得を目指すと共に、広報・ホームページやその他PRできる機会を積極的に活用していきます。また、スタッフひとりひとりの個性を大切にし、明るく居心地の良い職場環境作りにも力を入れていきます。その結果、離職率を軽減し、新たな人材と巡り合える可能性の向上にもつなげて参ります。

平成23年4月1日にオープンした太寿は、令和3年度初日に10年の節目を迎えます。平穩無事に事業運営ができたのは、入居者様、家族様、地域の方々、スタッフの皆様のご尽力の賜物であり、築き上げてきたつながりと絆は他の何事にも代えられない大切な宝物です。これまでに培ってきたことをベースとして、入居者様・利用者様、そして地域社会にさらに貢献していきたいと考えております。

## ●楽寿

入所系サービス（特養）では令和2年度は新型コロナによる感染予防強化に最大限取り組んできました。先行き不透明な状況において、今後も入居者の安全確保と面会が中止となっていることが



ら、ご家族への不安を払拭するため、リモート面会を含め予防対策を講じながら、交流を持てるよう取り組んで行き、入居者、ご家族等に安心感が得られるサービス提供に努めていきます。日常生活では外出の機会が当面困難な状況であることから施設内で感染対策に留意し、楽しんでいただけるイベント等を取り入れ日常生活に潤いを感じていただけるよう取り組み、心安らかに暮らせる場の継続に努めていきます。そして慢性的な介護職員不足への取り組みとして、新任職員には段階を追ったマンツーマンでのOJT研修をはじめ、全人的な人材育成に努め、振り返りを含めた個別指導により長期的な人材育成に取り組んでいきます。また入居待機者が減少する中、居宅介護支援事業所をはじめ、地域での広報活動等により施設の知名度をあげ、気軽に相談に来られるような施設作りと稼働率の向上に努めていきます。

居宅系サービスとしてショートステイ事業では人材確保が困難な中、令和2年度はほとんど稼働することができませんでした。令和3年度の取り組みとしてはまず、人材の定着を含めた介護人材確保に力を注ぎ早期の安定稼働と地域ニーズに応えられるような事業運営を目指していきます。

デイサービスでは利用者の方々がその人らしく在宅生活を維持できるよう社会との関わりの場としての役割を担いつつ残存機能の維持・向上ができるよう支援していきます。「楽寿のデイサービスが楽しい。楽寿にきてよかった」と思ってもらえるようなサービスの内容、質の向上、稼働率の安定に職員一丸となって努めていきます。

地域包括支援センター事業は、令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、介護予防教室及び家族介護教室は開催中止となりました。そこで、教室参加者に対して、運動啓発のチラシを同封した手紙をポストイングし、問い合わせがあった高齢者に対して訪問又は電話にてアプローチを行っていきます。介護予防プランについては、令和3年度の介護報酬改定において、ケアマネージャーへの原案委託に加算が新設されるなど委託連携が進んでいくため、より委託を重視した運営に努めていきます。

# 事業数値目標

## 【特別養護老人ホーム事業】

		寿 光 園	寿光園 (地域密着)	柏 寿	高 寿 (ユニット)
目標数	利用定員	60名	16名	30名	30名
	延利用人数	21,024名/年	5,606名/年	10,512名/年	10,512名/年
	稼働率	96%	96%	96%	96%
2019年度 実績(参考)		21,752名/年	5,809名/年	10,702名/年	10,570名/年
		楽 寿 (地域密着)		太 寿 (地域密着)	
目標数	利用定員	29名		29名	
	延利用人数	10,161名/年		10,161名/年	
	稼働率	96%		96%	
2019年度 実績(参考)		10,209名/年		10,384名/年	

## 【短期入所及び介護予防短期入所生活介護事業】

		寿 光 園	柏 寿	高 寿
定 員		13名	10名	10名
目標数	延べ利用人数	3,559名/年	2,737名/年	2,737名/年
	稼働率	75%	75%	75%
2019年度 実績(参考)		3,951名/年	2,702名/年	2,034名/年
事業実施地域		八尾市 東大阪・柏原市一部	柏原市全域	柏原市全域
		楽 寿	太 寿	
定 員		10名	10名	
目標数	延べ利用人数	1,825名/年	2,555名/年	
	稼働率	50%	70%	
2019年度 実績(参考)		1,100名/年	2,356名/年	
事業実施地域		八尾市全域 柏原市全域	柏原市全域 八尾市一部	

## 【通所介護事業・総合事業】

		寿 光 園	楽 寿	高 寿
目標数	利用定員	18名/日	25名/日	18名/日
	延利用者数	3,906名/年	5,425名/年	3,931名/年
	稼働率	70%	70%	70%
2019年度 実績(参考)		2,924名/年	6,447名/年	4,043名/年
事業実施地域		八尾市全域 (地域密着型)	八尾市全域 柏原市(法善寺・山ノ井)	柏原市全域 (地域密着型)
事業所営業時間		8:30~17:30	8:00~17:00	8:30~17:30
事業所休日		日曜・12/31~1/3	日曜・12/31~1/3	日曜・1/1~1/3

### 【訪問介護事業・総合事業】

		寿 光 園	柏 原 寿 光 園
目標数	利用者登録数	45名/月	55名/月
	延べ利用回数	7,600回/年	7,200回/年
	平均利用回数	635回/月	600回/月
2019年度 実績(参考)		7,549名/年	6,879名/年
事業実施地域		八尾市内全域	柏原市全域
サービス提供時間		7:00~21:00	8:00~20:00
事業所休日		年中無休	年中無休

### 【認知症対応型共同生活介護事業】

		寿 光 園	太 寿	令寿の杜
目標数	利用定員	9名	9名	18名
	延べ利用人数	2,957名/年	2,957名/年	4,599名/年
	稼働率	90%	90%	70%
2019年度 実績(参考)		3,222名/年	3,233名/年	—

### 【居宅介護支援事業及び介護予防支援事業】

			寿 光 園	柏 原 寿 光 園
目標数	延べ作成 件数	介護	110名/月・1,320名/年	120名/月・1,440名/年
		予防	30名/月・360名/年	20名/月・240名/年
2019年度 実績(参考)		介護	1,213名/年	1,505名/年
		予防	421名/年	274名/年
事業実施地域			八尾市内全域	柏原市内全域
事業所営業時間			8:30~17:30	9:00~18:00
事業所休日			日曜・12/30~1/3	土曜・日曜・12/30~1/3

### 【地域包括支援センター事業】

			八尾市地域包括支援センター 寿 光 園	
担当地域			高安中学校区	
事業所営業時間			24時間対応(時間外は特養にて受付)	
目標数	実態把握件数		200件(上限設定あり)	
	ケアプラン作成件数		45件/月(※うち原案委託30件/月)	
2019年度 実績(参考)			実態把握件数	235件/年
			ケアプラン作成件数	45件/月(※うち原案委託31件/月)

		八尾市地域包括支援センター 楽 寿	
担当地域		志紀中学校区	
事業所営業時間		24 時間対応（時間外は特養にて相談受付）	
目標数	実態把握件数	150 件（上限設定あり）	
	ケアプラン作成件数	180 件/月（※うち原案委託 175 件/月）	
2019 年度 実績（参考）		実態把握件数	180 件/年
		ケアプラン作成件数	170 件/月（※うち原案委託 163 件/月）

### 【有料老人ホーム事業】

		有料老人ホーム 安寿
目標数	利用定員	18 名
	延利用人数	5,256 名/年
	稼働率	80%
2019 年度 実績（参考）		3,947 名/年

（障害者総合支援法）

### 【柏原市地域生活支援事業】

		柏原 寿 光 園
目標数	延べ人員	50 名/年
2019 年度 実績（参考）		38 名/年
事業実施地域		柏原市内全域
事業所営業時間		8：30～17：30
事業所休日		土曜・日曜・12/30～1/3

### 【社会貢献事業（地域における公益的活動）等】

昨年度に引き続き、令和3年度も地域における公益的活動を推進してまいります。

＊大阪社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）

＊柏原民間社会福祉施設連絡会（生活支援事業）

＊生活困窮者就労訓練事業（中間就労）の就労訓練対象者の受け入れ。

※ 但し、以下の活動について、新型コロナウイルス感染拡大状況下である現時点におきまして、実施は未定となります。

＊こども食堂の開催 月2回（第2、第4木曜：17：30～20：00）

＊学習支援の会の開催 月2回（第1、第3木曜：18：00～20：00）

＊高齢者専用喫茶“お茶処ことぶき”の開催 月1回（第3木曜日：14：00～16：00）